

**製品名: CDK9 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02939**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 43 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDK9
別名	TAK; C-2k; CTK1; CDC2L4; PITALRE
遺伝子 ID	1025
SwissProt ID	P50750
免疫原	ヒト Cdk9 の合成ペプチド

**背景**

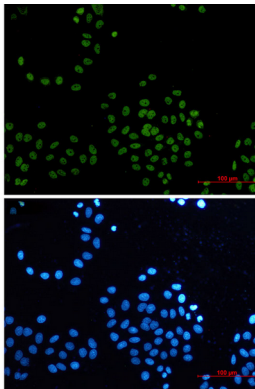
サイクリン依存性キナーゼ（CDK）は、サイクリンとの結合と T ループドメイン内の保存されたスレオニンのリン酸化によって部分

的に活性化されます。サイクリン依存性キナーゼペア (CDK9/サイクリン-T) 複合体のメンバーであり、正の転写伸長因子 b (P-TEFb) と呼ばれ、RNA ポリメラーゼ II (RNAP II) の大サブユニットの CTD (C 末端ドメイン)、SUPT5H、および RDBP をリン酸化することで、不完全伸長から産生伸長への移行を促進します。

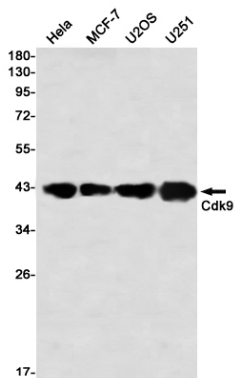
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



CDK9 抗体と DAPI (青) を使用した HeLa 中の CDK9 (緑) の免疫細胞化学分析。



Cdk9 抗体を使用した HeLa、MCF-7、U2OS、U251 溶解物中の Cdk9 のウエスタンブロット分析。